

ご利用者さまのおかげで、毎月 Unicef (ユニセフ) へ寄付をさせていただいています。

11月の寄付額 26,500円

累計金額 155,500円

謹賀新年

暦はこれから寒の内に入ります。乾燥のしすぎは冬風邪の原因となるのでお気を付けください。

デイサービス八重桜本店

「クリスマス会」



今年もクリスマスイベントを行いました。挨拶の後に、立派な髭を生やしたサンタクロースとトナカイ、それにツリーの来訪。サンタクロースの大きな袋に職員ご利用者さま共に大興奮する中でイベントは始まりました。まずは皆さまでクリスマスソングを合唱。赤鼻のトナカイやあわてんぼうのサンタクロースなど、皆さまが良く知る曲でフロアは一気にクリスマス街へと変貌していきます。歌が終わった後はお待ちかねのプレゼントを。サンタとトナカイが分かれてお一人お一人に靴下のプレゼントです。受け取った皆さまは嬉び切りの笑顔で喜ばれていました。さて、最後はクリスマスと言えはのケーキとジュースで乾杯。普段のジュースもグラスに入れば特別なものに早変わり。美味しいと皆さま舌鼓を打って喜んでおられました。

「餅つき」

年末のイベントと言えは餅つき。八重桜では昔ながらの杵と臼で餅つきを行いました。蒸しあがったもち米の香ばしい香りの中、早速一巡目の餅つき開始です。本店の誇る男性スタッフが代わる代わるべったんこ、べったんこ。力の入ってない杵の音には「もっこ」と叱咤激励が飛びます。餅がつきあがると、すぐさま取り分けて皆さまで丸めます。なかなか綺麗に丸くならず悪戦苦闘しながらも皆さま楽しんでます。その際に二巡目の準備を整えて、次はご利用者さまにもついでにいただきます。「昔じゃこいたのを思い出すわ」との言葉通りに皆さま結構なお手前リズムよくつかれています。皆さまで力を合わせた結果、たくさんのお餅と立派な鏡餅を今年も作り上げることができました。労働の後は栄養補給ということで、おやつにぜんざいを。こちらも皆さま美味しそうに召し上がっておられました。この鏡餅を飾って年明け、いよいよ新年を迎えられるように願っています。



家族機能の社会化

西 勝康

二〇三〇年には単身高齢者世帯は八百万世帯との予測があります。先々には更に増えてゆきます。それは社会的孤立に陥る高齢者が増大するということです。孤立の指標としては①「会話」の欠如②「頼れる人」の欠如③「手助けする関係」の欠如などが挙げられます。

桜の広場

国立社会保障人口問題研究所の調査によると「会話」の欠如については「二週間一回以下」しか会話をしていない人の比率は、総数では二・二%なのに、高齢単身男性では十四・八%に上がります。②「頼れる人」の欠如、③の「手助けする関係」の欠如なども高齢単身男性では突出して高い比率になっています。単身高齢男性の「社会的孤立」が最も深刻なことになっていることが鮮明に見えます。

身寄りのない人の場合「日常的なサポート」の欠如が問題になります。入院や借家手

続きなどの身元保証、買い物や病院付き添いなどの日常生活支援、死後の手続き等です。更に経済的な厳しさに社会的孤立が重なる、生活困窮が一層深刻になりがちです。八重桜が運営しているみんなのリビング「カフェ八重の家」の来場者も男性が少ないです。そもそも女性の方が人口が多いことではありますが、やはり男性は地域での社交性が低いように思われます。何かきっかけが必要ですね。今後未婚化の進展に伴い、将来的に身寄りのない人が一層増えていくことになるでしょう。未婚の単身者は配偶者だけでなく子供もいないので、家族に頼ることが難しい。家庭内介護力が弱体化することに対して「介護の社会化」ということで公的介護保険制度が生まれたように家族機能の喪失に対しても「家族機能の社会化」という視点で対策を考えなければならぬと気がきているように思います。

デイサービス八重桜 朱雀

【クリスマス会】

朱雀館では心温まるクリスマス 행사를盛大に開催いたしました。参加者の皆さまが楽しいひとときを過ごせるように、様々なアクティビティを計画しました。スタートはご利用者さまとスタッフとのハンドベルによるジングルベルの演奏です。とても素敵な音色が広がりクリスマスの雰囲気立ち込めました。次に、職員による催し物で椅子取りゲームとクリスマスダンスを披露してとても盛り上がりました。観ておられるご利用者さまの笑顔がとても嬉しそうにされていて良かったです。特別ゲストとしてサンタクロースが登場し、皆さまにプレゼントを配る一面も。笑顔あふれる場面が広がり、クリスマスの喜びが共有されました。このクリスマス行事を通じて、皆さまが心地よいひとときを過ごし、交流を深めることができました。来年もさらなる充実したイベントを企画し、皆さまに楽しい日々を提供していきます。



【餅つき】

毎年恒例の餅つき大会を開催いたしました。石臼での餅つきでしたので、臼が冷えないようにお湯で温めながら餅つきをします。「よいしょー！ よいしょー！」と皆さまの大きな掛け声とともにお餅をついて賑やかなお餅つきになりました。おかげでつやつやの良いお餅がつきあがり、ぜひいにして提供させていただきました。皆さま、とても美味しいとご満足されておられました。ご利用者さまにとっては懐かしい伝統行事に触れ、笑顔で楽しい時間を過ごしました。来年も一層の充実と笑顔が満ちるよう、共に過ごす日々を大切に、今後皆さまが楽しいひとときを過ごせるように努めたいと思います。



デイサービス八重桜 押熊

【季節の工作づくり】

十二月に入っても日中は温かい日が続いていましたが、師走らしい寒さが感じられるようになり、早々にクリスマスの準備を始めました。ツリーの飾りつけは、皆さまにご協力いただきました。手を動かしながらもクリスマスは何をするのかな？ などとお話しながら楽しんで待っていました。



クリスマス会ではご利用者さまと一緒にクリスマスの歌を歌わせていただきました。歌うのが苦手な方は手拍子でご参加です。おやつにはショートケーキを、食べられない方にはプリンをお出して召し上がっていただきました。「美味しいな！」「食べるのもらいたくないな！」とお話をしながら食べられとても喜んでくださいました。

クリスマスプレゼントの靴下を皆さまに手渡すと、すぐに開けて確認される方や子供や孫にあげるわ！と大事にかばんに入れられている方もいらっしゃいました。皆さまに喜んでいただき嬉しく思いました。

【餅つき】

クリスマスが終わり、当年も残りわずかとなった頃にお餅つきを行いました。朝から準備をしていると、餅つきするん？とスタッフに聞いてこられます。準備を整えて、いざお餅つきとなると男性のご利用者さまが杵を持って参加してくださいました。押熊は女性のスタッフがが多いので、他店からお手伝いに来てくださったのでした。昔ながらの杵と臼を使って行うお餅つきを懐かしく思われた様子で、昔はこんなやつたなあとお話をしていたら、いいました。さて、皆さまで作ったお餅で今年も立派な鏡餅ができました。おやつのおもちを召し上げられない方もいらっしゃいますので、おしるこのおもちを食パンで代用して召し上げていただきました。甘くて美味しいと大変喜んでくださいました。



デイサービス八重桜 平城

【餅つき】

月日が経つのは早いものです。年末の恒例行事「餅つき」を平城館と八重の家との合同で催しました。湯気が上がったもち米を臼に移すと、皆さまから期待に満ちた歓声が上がりました。職員が力強く杵を振りかざします。「ヨイシヨ」「ヨイシヨ」という掛け声と共に杵をつく音がフロアに響き渡ります。つき上がった餅はご利用者さまが慣れた手付きで鏡餅用と小餅用に分けてくださいました。最後にはつきたてのお餅をおしるこに入れてお出ししました。「甘くて美味しい」などと言われ皆さま笑顔で食べてくれました。今年もご利用者さまと職員との共同作業で連帯感を感じられ、良い時間を共有する事が出来ました。また来年もよろしく願います。



八重の家

【クリスマスチャリティイベント】

去る十二月十日「そーしゃる」の企画によるクリスマスチャリティイベントを開催いたしました。錦織素子様のアリリッシュ



ハープの美しい音色が会場を包みこむ中、計六十六点(クッション三十枚ミニバッグ・マフラー・クリスマスリース各十二点)の商品が会場のテーブルを華やかに彩りました。商品は瞬く間に完売し、その収益は全額ユニセフに寄付いたしました。チャリティにご賛同くださった皆さま方に心より御礼申し上げます。

【贈呈式】

十二月二十一日、暦では冬至を迎え寒さも厳しさを増してくるこの時期に、毎年JR奈良駅と施設の最寄り駅であるJR平城山駅のベンチにクッションを寄贈しています。駅長の助岡保三郎様と副駅長の藤田祐造様にご来館くださいました。



デイサービス八重桜 西奈良

【クリスマス会】

本日はクリスマス演奏会を行いました。この日のために、フロアはクリスマスツリーやキラキラした装飾品を飾り、ご利用者さまにはクリスマスカードを作っていたいたり、サンタさんの壁面制作に取り組んでいたりと準備をしていました。サンタ帽子を全員に被っていたり、さあ演奏会の始まりです。

まず、「きよしこの夜」をハンドベルで演奏。職員が集まって練習する事が難しかったのですが、一番は何とか無事に成功。多少のミスもご愛敬です。

ハンドベル演奏の次はリコーダーやハーモニカ、ウクレレを伴奏にして、ご利用者さまに冬にまつわる歌を歌っていただきました。ご利用者さまにもカスターネットや鈴を鳴らしていただき、素敵な音色がフロアに響いていました。演奏会の後は皆さまお待ちかねの施設長による手作りケーキの時間。可愛らしさと美味しさを兼ね備えたサンタのケーキに皆さま目も舌も大満足のご様子でした。来年もお楽しみに。



【餅つき】

年の瀬に入り餅つきをする頃合いとなりました。あれからもう一年が経つのかとしみじみと感じます。新年に向けて盛大にお餅をつきましようという事で、西奈良では元気いっぱい餅つきを行いました。



ほかほか炊きあがったお米を力いっぱい叩いて、どんどんお餅になっている様子を見て、皆さまの表情がワクワクしているのがとても印象的です。「私もやりたい」という方が大勢いたので、皆さんも職員と一緒にさせていただきました。「思ってたよりもしんどいわ」と仰りながらも、生き生きとした面持ち。西奈良館全員で作ったお餅は、鏡餅として施設の玄関に飾らせていただきました。これで明るく新年を迎えられそうです。

真心

浅田 静香



八重桜に入職し、十一月で丸二年になります。この間に起こった大きな事柄はコロナ対応や自身の骨折でした。

折れそうになる事もありました。骨折は左手首でしたので、重い物を持ってない事は勿論、小さな事では座薬を開封する事すら出来ず色々な面で介護スタッフさんに手助けをしていただきました。この場をお借りし感謝の気持ちをお伝えします。ありがとうございます。

さて、私が仕事で大切にしている事は「真心」です。ご利用者さまは自分の家族と同じです。「おはようございます。」から始まり「おやすみなさい。」の挨拶までの間の声のトーンや表情、食事量等から体調不良や困った事がないのかも観察します。ご利用者さまの話を傾聴する事によっていただく「安心しました」「ありがとうございます」と感謝の気持ちを抱きます。

住み慣れたご自宅を離れ、大切な家族と離れて施設で暮らすことになったご利用者さま。不安な気持ちや淋しい気持ちも沢山あった事だと思えます。不安を安心に変え少しでも淋しさを紛らわせる事が出来るように...ご利用者さまが自分の家族であったならと常に考え、真心を込めた接し方をこれからもさせていただきます。これからのよりよくお願いいたします。

こころの遊歩道

・索ずるより産むが易し
・山よりでかい猪は出えへん

西社長の好きな言葉

俳句教室発表句(敬称を略します)

年玉の 手に受け孫の 笑みこぼす

磯野 弘子

七草の 粥に遊びし 野に出し頃

辻江 敏子

昔の楽しい野草摘みを思い出しますね

ごまめがさ 歯のない私を 呼んでいる

美味しいですが、刺さらないように...

兵 等 寛

須張るぞ ごまめで祝盃 今年こそ

吉田 章

かんぱーい!

初詣 今年の運勢 おみくじ引く

大吉がですように!

お年玉 やる孫皆 嫁もらい

西川 道子

子供より孫の成長は早いですね

八重の家通信 40

カフェ八重の家



寒気がやってきて、とても寒い日が続いておりますが、皆さま、体調管理は大丈夫ですか? 今回、カフェ八重の家では、訪問看護ステーションぶらすの三木看護師さん、新谷看護師さんにお願ひして、「ヒートショックにご用心」というテーマで、次のようなお話しをしていただきました。

ヒートショックとは、大きな気温の変化により急激に血圧が上下して心筋梗塞、脳卒中、失神、不整脈などの病気が起こることです、十二月から一月がピークと言われています。特に、糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病がある方は、要注意です。

ヒートショックを防ぐためには、まず、入浴前に脱衣場や浴室を温めておくことが大切です。ぬるめのお湯で、ゆっくり入ることを心がけましょう。お湯の温度設定は、四十一度以下で、浴槽にかかる時間は、十分までを目安にて、安全に入浴しましょう。

最後に「万が一、湯船から出られないような状況に出くわした場合は、溺れないためにも慌てずに、浴槽の栓を抜いてください。」という注意がありました。



認知症予防あれこれ ⑨

スーパーマン

藤村 俊城

基本的には人は無駄なお金を出さないとはいえません。どうしようもないからお金を払うのです。自分では食料を生産できないからスーパーで買うし、歩いて行けないからバスや電車に乗ります。ようするにお金を支払う相手とは、助けてくれるスーパーマンなのです。私の、認知症という病から一人でも多くの方を救い

たいという思いと、会社の意向もあり、認知症予防プログラムを開始して約十三ヶ月。ご利用者さまからも良い変化のお言葉をいただいております。私は何でもできる器用な人間ではございません。しかし私もご利用者さまからお金をいただく者として、認知症予防では皆さまのスーパーマンであり続けたいと思っております。至らぬ点も多いでしょうが日々精進してまいります。「認知症が不安」家族の認知症が...など悩まれておられる方はご相談ください。藤村でよければ、ここにおります。